



家庭でできる 省エネの取り組み

未来のために、今できること

問い合わせ 環境課（市庁舎6階、☎65・4135）

帯広市は、2022年6月に、2050年までに二酸化炭素の排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を表明しました。将来の世代も安心して暮らせる持続可能な社会を目指します。

地球温暖化の影響

近年、日本各地で極端な気象現象が多く観測されているほか、農業や水産業においても、収穫・漁獲量に変化が生じています。帯広市では、この100年で年平均気温が約2度上昇しています。

家庭での取り組みが重要

帯広市における2020年度の温室効果ガスの排出量（速報値）は約130万トンであり、3割以上が家庭部門から排出されたものでした。地球温暖化の影響を少しでも抑えるためには、家庭での省エネの取り組みが非常に重要です。

COOL CHOICE 取り組み「COOL CHOICE」

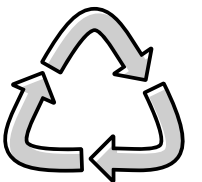
「COOL CHOICE」は、二酸化炭素（CO₂）などの温室効果ガスの排出削減のために、製品の買い替えやサービスの利用、ライフスタイルの選択など、日々の生活の中であらゆる「賢い選択」をしていこうという取り組みです。

環境に配慮する「COOL CHOICE」に取り組みしましょう。

▼家庭でできる省エネ（CO₂削減）の取り組み例

<p>トイレを使わないときはフタを閉める</p> <p>年間17.0kgの減※1</p>	<p>電気ポットを長時間使用しないときはプラグを抜く</p> <p>年間52.4kgの減※1</p>	<p>省エネ家電に買い換える</p> <p>10～14年前の冷蔵庫を最新型に買い換えた場合の比較</p> <p>年間163.0kgの減※2</p>
--	--	---

※1 出典：資源エネルギー庁ホームページ (https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/index.html#general-section)
 ※2 出典：環境省ホームページ (https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/zc-action30/)



3Rでサステナブルな暮らしを始めませんか

10月は3R推進月間

問い合わせ 清掃事業課（西24北4、☎37・2311）

近年よく耳にする「サステナブル」という言葉は、「持続可能な」という意味を持っています。一人ひとりの3Rを心掛けた行動は、循環型社会・サステナブルな社会を構築することにもつながります。

キーワードは「3R」

3R（リデュース、リユース、リサイクル）は、ごみを減らし、資源やエネルギーを守るといった、基本的な行動を示すためのキーワードです。



リデュース（ごみを出さない）

▽家庭からの「食品ロス」を減らす
 買いすぎを防ぐため、日ごろから冷蔵庫の中身をチェックする習慣をつけ、 unnecessaryなものは買わないようにしましょう。また、料理は作り過ぎず、食べ切りましょう。

▽外出にはマイバックとマイボトルを持参
 買い物のために袋を買い、外出のたびにペットボトル飲料をかう生活から、マイバックとマイボトルを持って出掛ける生活に変えてみましょう。

リユース（くり返し使う）

▽不用品を譲る、もらう
 まだ着られる服や小物、読み終えた本などは、ごみとして出す前にリユースショップを利用してみましょう。

▽詰め替えできる商品を使う
 詰め替え用の商品を使い、本体のボトルを再利用することで、ごみの量を減らすことができます。

リサイクル（再利用）

▽生ごみは土に返して堆肥に
 生ごみ堆肥化容器や電動生ごみ処理機を使って、生ごみを堆肥にして、その堆肥を使った野菜や花を育ててみませんか。燃やすごみの量を減らすこともできます。

日常の生活の中で、できることから取り組むでござる。



リサイクル忍者 わけすけ



火を消して不安を消してつなぐ未来

10月15日～31日は秋の火災予防運動期間

問い合わせ 帯広消防署予防課（西6南6、消防庁舎1階、☎26・9131）

秋は暖房機器の使用などにより火災が発生しやすい時期です。市民の皆さんの防火意識の向上のため、秋の火災予防運動期間中に、さまざまな取り組みを行います。

チラシによる火災予防広報

帯広南商業高等学校の学生がデザインした火災予防のチラシなどを活用して、広報します。

要配慮者世帯への防火訪問

消防職員や女性消防団員が一人暮らしの高齢者世帯を訪問し、火災予防チラシなどで火の用心を呼び掛けます。

消防ふれあいフェア

消防士体験やはしご車と写真撮影など、さまざまな内容で開催！

日時 10月15日(日)、10時30分～12時30分
 場所 消防庁舎



防火映像の放映

市内家電量販店5店舗にて、防火に関する映像を店舗内のテレビで放映します。

火災予防について考えよう！

□に当てはまる言葉を下枠内から選んでね。

住宅防火 いのちを守る 10のポイント

◆4つの習慣

- は絶対にしない、させない。
- の周りに燃えやすいものを置かない。
- を使うときは、火のそばを離れない。
- はほこりを清掃し、 unnecessaryなプラグは抜く。

◆6つの対策

- ストーブやこんろなどは、□□□□の付いた機器を使用する。
- 住宅用□□□□□□を定期的に点検し、10年を目安に交換する。
- 寝具、衣類およびカーテンは、□□□□を使用する。
- を設置し、使い方を確認する。
- と□□□□□□を常に確保し、備えておく。
- 防火防災訓練への参加など、地域ぐるみの□□□□□□を行う。

火災警報器・消火器・ストーブ・安全装置・こんろ・防災品・防火対策・コンセント・寝たばこ・避難経路・避難方法



総務省消防庁ホームページ